

# 「わが図書館ならではの本」

～大隅支部 志布志市立図書館～

志布志に伝わる民話を伝承していく方法は何かないか。

図書館職員を中心に考え作成したのが、大型かみしばい「おさんぎつね」です。当時（平成9年頃）は、まだ大型えほんや大型かみしばいが普及していませんでしたので、作成は苦勞したと聞いています。

「おさんぎつね」は、志布志市のお釈迦祭りに由来するお寺（宝満寺）を舞台としたきつねとお寺の小僧さんの知恵比べの物語です。地元に残るお話で、子どもにも分かり易くとてもユーモアあふれる内容になっています。

学校や高齢者での読み聞かせ等にも活用していますが、今年はおさんぎつねの「影絵」を作成して、先日の図書館まつりでも披露しました。

少子化の時代、「地域に残る民話を未来の子どもたちにも伝え残したい」、そんな思いのこもった手作りの作品です。



（大型かみしばい）



（影絵）